

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場会社名 株式会社 大田花き
 コード番号 7555 URL <http://www.otakaki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 磯村 信夫
 (氏名) 金子 和彦

TEL 03-3799-5571

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	20,470	—	131	—	164	—	98	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 98百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	19.31	—
27年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	9,140	4,657	51.0	915.38
27年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 4,657百万円 27年3月期 一百万円

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,095	—	168	—	203	—	104	—	20.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	5,500,000 株	27年3月期	5,500,000 株
28年3月期3Q	411,463 株	27年3月期	410,539 株
28年3月期3Q	5,088,960 株	27年3月期3Q	5,089,461 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当社は、平成28年3月期第1四半期より連結決算へ移行いたしました。

(2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和などを背景に企業収益は回復基調であるものの、個人消費には陰りが見えてきました。これはガソリン価格等は下落したものの、購買頻度の高い日用品や食料品が値上がりし、いわゆる体感物価が上昇したことなどが影響しています。

野菜・花の生産は、年初から続く天候不順により、9月までは作柄が悪く、品薄傾向で高値にて推移しました。しかし台風被害が少ない上に10月頃よりエルニーニョ現象が本格化し、暖秋・暖冬ぎみになったことで豊作となり、また消費サイドにおいても冬物の購買意欲が沸かないことで、価格は下落しました。

このような経済状況の下で当社グループは、当社を中心とした首都圏マーケットに加え、株式会社九州大田花きの福岡地区、株式会社とうほくフラワーサポートの仙台地区においても、団塊ジュニア層をターゲットに、人が集まる場所で花を販売しているスーパーやホームセンター、駅ナカの専門チェーン店を主な販売チャネルとして、量を販売する取り組みを進めました。スーパーには花束加工専門の業者が卸していることも多く、そこへ向けても数量を販売しました。価格が高い時はデザイン性の高い花束、安い時はボリュームを出した花束の販売を推し進めました。また、冬の鉢物類は、花持ちが大変良いので品質の良いものは強気の販売で、中級品以下のものはディスカウントするなどの2極販売を行いました。これらホームユース等だけではなく、法人の業績が良いことから、会社の受付やロビー、オフィスの中にも観葉植物や洋ラン等を販促し、いずれも好調で定着の兆しが見えてきました。

この結果、当第3四半期連結累計期間(平成27年4～12月)における当社グループの業績は、売上高20,470,717千円、営業利益131,463千円、経常利益164,414千円、親会社株主に帰属する四半期純利益98,287千円となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、9,140,700千円となりました。主な内訳は現金及び預金2,264,993千円、売掛金2,376,736千円、建設仮勘定2,162,363千円であります。

負債につきましては、4,482,731千円となりました。主な内訳は受託販売未払金2,095,285千円であります。

純資産につきましては、4,657,969千円となりました。主な内訳は利益剰余金4,053,455千円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,262,993千円となっております。

営業活動の結果増加した資金は、453,626千円となりました。主な増加要因は、仕入債務の増加844,767千円、税金等調整前四半期純利益164,414千円、減価償却費119,567千円によるものです。主な減少要因は、売上債権の増加571,522千円、法人税等の支払額51,187千円、未払消費税等の減少36,686千円によるものです。

投資活動の結果減少した資金は、1,158,039千円となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出1,215,816千円によるものです。増加要因は、定期預金の払戻による収入100,000千円、貸付金の回収による収入99,004千円によるものです。

財務活動の結果増加した資金は、342,628千円となりました。増加要因は、長期借入れによる収入420,000千円によるものです。主な減少要因は配当金の支払額59,063千円及びリース債務の返済による支出15,399千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月8日に公表しました平成28年3月期の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日(平成28年2月10日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、子会社である株式会社大田ウィングス及び株式会社九州大田花きを連結の範囲に含めております。また、四半期純損益及び利益剰余金に重要な影響を及ぼすため、関連会社である株式会社とうほくフラワーサポート、株式会社ディーオーシー及び花き施設整備有限会社を持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,264,993
売掛金	2,376,736
商品	370
その他	140,805
貸倒引当金	△13,756
流動資産合計	4,769,148
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	111,448
工具、器具及び備品(純額)	265,442
建設仮勘定	2,162,363
その他(純額)	144,544
有形固定資産合計	2,683,799
無形固定資産	
ソフトウェア	82,954
その他	4,265
無形固定資産合計	87,219
投資その他の資産	1,600,532
固定資産合計	4,371,552
資産合計	9,140,700
負債の部	
流動負債	
受託販売未払金	2,095,285
買掛金	90,812
短期借入金	24,960
未払金	925,863
未払法人税等	32,719
賞与引当金	16,081
その他	182,216
流動負債合計	3,367,938
固定負債	
長期借入金	392,960
退職給付に係る負債	302,201
資産除去債務	93,465
その他	326,165
固定負債合計	1,114,792
負債合計	4,482,731
純資産の部	
株主資本	
資本金	551,500
資本剰余金	402,866
利益剰余金	4,053,455
自己株式	△349,852
株主資本合計	4,657,969
純資産合計	4,657,969
負債純資産合計	9,140,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	20,470,717
売上原価	18,469,954
売上総利益	2,000,762
販売費及び一般管理費	1,869,298
営業利益	131,463
営業外収益	
受取利息	3,787
受取配当金	4,500
持分法による投資利益	2,710
その他	22,395
営業外収益合計	33,394
営業外費用	
支払利息	339
固定資産除却損	103
営業外費用合計	442
経常利益	164,414
税金等調整前四半期純利益	164,414
法人税等	66,127
四半期純利益	98,287
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,287

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	98,287
その他の包括利益	—
四半期包括利益	98,287
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	98,287
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	164,414
減価償却費	119,567
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,919
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	28,433
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,400
受取利息及び受取配当金	△8,287
支払利息	339
持分法による投資損益(△は益)	△2,710
固定資産除却損	103
売上債権の増減額(△は増加)	△571,522
たな卸資産の増減額(△は増加)	7
仕入債務の増減額(△は減少)	844,767
未収入金の増減額(△は増加)	4,579
未払費用の増減額(△は減少)	7,611
未払金の増減額(△は減少)	△22,755
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36,686
その他	△39,617
小計	481,725
利息及び配当金の受取額	23,296
利息の支払額	△208
法人税等の支払額	△51,187
営業活動によるキャッシュ・フロー	453,626
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△1,215,816
無形固定資産の取得による支出	△2,250
長期前払費用の取得による支出	△1,776
貸付けによる支出	△137,200
貸付金の回収による収入	99,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,158,039
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	420,000
長期借入金の返済による支出	△2,080
自己株式の取得による支出	△827
配当金の支払額	△59,063
リース債務の返済による支出	△15,399
財務活動によるキャッシュ・フロー	342,628
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△361,784
現金及び現金同等物の期首残高	2,624,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,262,993

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、花き卸売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。